

みて! よんで! いっ?

ぎかいのひろば

—さあ、あなたも!—

この町の笑顔を守るため



トピック

★私たち活躍中!

突撃インタビュー・志賀町消防団女性団員の皆さん … P2～3

★町政を問う!

一般質問・4氏が登壇 … P8～12

★選挙についてどう思う?

聞かせてください

あなたの声 ～志賀高校3年生編～ … P14～15



志賀町議会





突撃 インタビュー



地域を守る新しい力

女性消防団員のいま

「志賀町消防団女性団員」をご存知ですか？

志賀町消防団では、令和3年度から女性消防団員が誕生し、現在は7名で構成されています。今回は、地域防災の最前線で活動する女性団員の皆さんに、日頃の活動内容や今後の展望についてお話を伺いました。

① 現在の主な活動内容を教えてください。

表谷委員



▲主な活動は、火災予防の啓発です。「春・秋の火災予防運動」でのキャンペーンや、仮設住宅への「防火訪問」を行っています。消防署の職員さんと一緒に各家庭を回り、火の元の確認や、火災警報器の設置状況について直接お話しさせていただいています。また、全員が「普通救命講習」を受講しており、いざという時の応急手当の知識も備えています。

② どのような方が団員として活躍されていますか？役場職員以外の方もいらっしゃるのでしょうか？

櫻井委員



▲現在は7名中5名が町職員です。今日は仕事の都合で欠席していますが、民間の企業に勤務しながら活動している本田則子さん、平野彩乃さんもいます。様々な立場の女性に加わることで、より多角的な視点を持って活動していけると感じています。

③ 活動と仕事や家庭との両立についてはいかがですか？

南委員



▲消防団には「仕事を持っているから難しい」というイメージがあるかもしれませんが「自分たちの町を自分たちで守りたい」という思いで参加してくれている仲間がいることは、とても心強いです。家庭もありますので、無理のない範囲で、できることを協力し合って進めています。

④ 今後の目標や、これから挑戦したいことはありますか？

寺井委員



▲まずは、より専門的な知識を身につけたいですね。例えば「防災士」や「危険物取扱者」といった資格取得にも関心があります。また、石川県消防学校での研修などを通じて、他市町の女性団員ともっと交流を深めたいです。震災の際も横のつながりに助けられたので、そうしたネットワークを広げること、いざという時によ理的確な行動ができるよう備えていきたいと考えています。

私たちと一緒に活動しませんか？

志賀町を守る新しい仲間を

募集中です！



お問合せ先：
志賀町役場 危機対策課
☎ 32-9321

大きな災害が起きたとき、私たち町職員は復旧作業や避難所運営などの公務に全力であたっていました。

その反面、消防団員としての活動が制限される難しさもあります。だからこそ、民間企業などで働きながら活動する本田さん、平野さんの存在は本当に心強いです。二人は入団して研修もこれからという時期に能登半島地震に直面し、手探りの中で共に活動してくれました。防災は、決して行政だけで完結できるものではありません。立場の異なる地域の皆様と手を取り合い、それぞれの視点を持ち寄ること。そうしてどんな状況下におかれても地域を守っていく体制を日頃から作っていくこそが、これからの『新しい力』になると信じています。

まとは ひさえ
的場尚恵さん



公務と防災の狭間で。

葛藤を超えて目指す「守り」の理想。

私

は防火管理者の資格を持っていて、平時の「予防」や「啓発」に人一倍力を入れていきます。また、防災士の資格にも関心があり、専門的知識が必要な場面では、役立てると思い機会があれば取得したいです。今後も「自分にできる防災とは何か？」を常に考えながら町民の安心・安全のために全力で頑張りたいと思います。

はく い く み よ
羽咋久美世さん



ま

ずは自分の家族や隣人の笑顔、見慣れた景色を災害から守りたい。そんな身近な思いを防災の原動力にしています。

なかし ま と も え
中島智恵さん



これからも団員とともに防火・防災に関する知識を学び、町民の皆さんにその重要性を自信を持ってお伝えできるよう頑張ります。地域の皆さんとのつながりを大切にしながら活動していきたいです。

あず ま さ き
東沙希さん



防

火訪問」などを通じて、地域の方々と直接顔を合わせてお話しできるのはとても貴重な経験です。地域の安心を直接感じることで、やりがいを感じます。

もう り と も み
毛利智美さん



「突撃インタビュー」を終えて...

地域防災の要である消防団。女性団員の皆さんの、家庭や仕事を大切にしながらも志高く活動する姿が印象的でした。企業側の協力体制も含め、誰もが活動しやすい環境づくりを議会としても後押ししていきたいと思っています。

(議会広報特別委員会)

消防団は、地域の安全を守るために欠かせない存在です。
「役場の職員ばかりなのでは」と思われがちですが、実際は民間企業で働くメンバーもそれぞれの経験を活かして活躍しています。女性ならではの視点や、それぞれの仕事の強みを持ち寄ること、よりきめ細やかな防災活動ができます。少しでも興味のある方は、ぜひ気軽に声をかけてください。私たちと一緒に、志賀町の未来を守っていきましょう！

最後に、町民の皆さんへメッセージをお願いします。

震災復興の シンボル誕生！



新たな賑わいの
新拠点へ



道の駅「とき海街道」再整備
事業の第一弾として多目的広場
が完成した。スポーツやイベン
トで町を元気に！

6月定例会は、6月2日から同月16日までの15日間の会期で
開かれ、一般会計や各会計の補正予算をはじめ、条例の制定及
び改正に係る議案、工事請負契約の締結、工事請負契約に係る
議決の一部変更の議案や財産の取得など、合わせて20件を審議
し、すべて原案のとおり承認・可決しました。
(※議決結果はp6～7参照)



提案理由説明の
映像はこちらから

「こども誰でも通園制度」が いよいよスタート！



「誰でも」預けられる
画期的な仕組み

令和8年度から全国で本格実施され
る「こども誰でも通園制度」が、志賀
町の公立保育所でスタートします。
これまでの保育所は「親が働いてい
ること」などが利用の条件でしたが、
この新制度では、保護者の就労状況に
関わらず、保育所を利用することがで
きます。



志っ張りチェック！ 委員会審査

一般会計

震災前よりも良い町にするために

質疑

約12億円の追加予算、何にどう使うのか。

答弁

国庫の補助金を活用し、震災からの早期復旧や高温等対策などに係る事業費を計上したほか、道の駅とぎ海街道周辺再整備、地域商社設立、GX産業基盤の構築などに係る事業費を計上し、創造的復興を推進する。

質疑

身近な復旧はどうなるのか。

答弁

「住宅裏のかけ地土砂撤去」などの予算もしっかり計上した。日常生活の安全を取り戻すための復旧作業を、これまで以上にスピードアップさせていく。

予算決算 常任委員会

当初予算・補正予算・決算にかかる分野を審査します。



総務産業建設 常任委員会

役場内部事務や地場産業にかかる分野を審査します。

道の駅とぎ海街道
多目的広場の利用条件は？

質疑

誰でも自由に使えるのか？

答弁

昼間の個人利用は無料。イベントなどで貸切にする場合や、夜間の照明を使う場合のみ料金がかかる。



教育民生 常任委員会

教育や住民の暮らしにかかる分野を審査します。

就労を問わず一歩外へ

質疑

「こども誰でも通園制度」は仕事をしていたなくても預けられるのか？

答弁

保護者の就労に関わらず利用できる。利用には認定を受ける必要があるが、月10時間まで利用可能。利用料は1時間当たり300円である。

介護保険料減免を聞く

質疑

介護保険料の負担を抑えるとともに、そのための手続きも不要なのか？

答弁

今回の改正は事務の効率化等を考慮し、本人申請を不要とするものである。

6月定例会

議決結果

議案番号	議案名と主な内容（議案名は一部省略してあります）	議決結果
議案 47・48	令和8年度介護保険特別会計補正予算（第1号）… 介護保険システムの改修に伴い、所要額を補正するもの 令和8年度水道事業会計補正予算（第1号）… 令和6年能登半島地震県外事業体からの応急給水費用精算に伴い、所要額を補正するもの	可決 賛11 反0
議案 49～52	道の駅とぎ海街道多目的広場条例の制定 志賀町保育所条例の一部改正・志賀町介護保険条例の一部改正・志賀町林間広場条例の一部改正… 所要の改正	可決 賛11 反0
議案 53	工事請負契約の締結「志賀中学校学校施設災害復旧工事（外構）」 … 災害復旧工事を行うにあたり、池田建設工業株式会社 代表取締役 池田 政基と2億4200万円で締結。	可決 賛11 反0
議案 54～57	「専決処分の承認（工事請負契約の一部変更）」の議決の一部変更… 災害復旧工事に係る請負契約の一部変更。	可決 賛11 反0
議案 58・59	「工事請負契約の締結」の議決の一部変更（町道第740号西山羽咋線道路災害復旧工事（6災10883号）2工区）（町道第136号高浜米浜線外道路災害復旧工事（6災5093号外））… 災害復旧工事に係る請負契約の一部変更。	可決 賛11 反0
議案 60	財産の取得… 除雪ドーザ：千代田機電株式会社から2131万4700円で取得	可決 賛11 反0
請願 2	貴議会として、「『防衛装備移転三原則』及びその運用指針を改定する閣議決定の撤回を求める」意見書の採択を求める請願書… 日本政府がすみやかに「防衛装備移転三原則」及びその運用指針を改定する閣議決定の撤回をすることを求める。 提出者：石川県平和委員会 事務局長 柴原 和美 氏 紹介議員：中谷 松助 議員	不採択 賛2 反9
承認 12	専決処分の承認（令和8年度志賀町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 補正額：600万円 歳入歳出予算額：5億5569万円	承認 賛11 反0
議案 61	工事請負契約の締結「R6農地・農業用施設災害復旧工事28工区（6災6305）」 … 災害復旧工事に係る請負契約。	可決 賛11 反0
議案 62	工事請負契約の締結「R6農地・農業用施設災害復旧工事29工区（6災6277）」 … 災害復旧工事に係る請負契約。	可決 賛11 反0
議案 63	工事請負契約の締結「町道第338号志賀の郷1号支線道路災害復旧工事（6災5155号外）」… 災害復旧工事に係る請負契約。	可決 賛11 反0
議案 64	「町道第340号志賀の郷3号支線道路災害復旧工事（6災5065号外）」… 災害復旧工事に係る請負契約。	可決 賛11 反0



議案第46号採決の様子
全員賛成で可決した
※議長は採決に加わりません。

委員長報告・
採決の映像は
こちらから



2 回 臨 時 会臨時会映像は
コチラから**議 決 結 果**

※議長は採決に加わりません。

議案番号	議案名と主な内容（議案名は一部省略してあります）	議決結果
報告 1・2	専決処分の報告（損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定）	報告のみ
承認 2	専決処分の承認（令和7年度志賀町一般会計補正予算（第11号）） 歳入歳出予算補正額：△7億6091万円 歳入歳出予算額：552億2747万円	承認 賛11 反0
承認 3～7	専決処分の承認（令和7年度志賀町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）・令和7年度志賀町後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）・令和7年度志賀町介護保険特別会計補正予算（第4号）・令和7年度志賀町立診療所事業特別会計補正予算（第2号）・令和7年度志賀町下水道事業会計補正予算（第4号））… 事業の確定及び精算に伴う所要額の補正	承認 賛11 反0
承認 8～11	専決処分の承認（志賀町税条例の一部改正・志賀町都市計画税条例の一部改正・志賀町本社機能立地促進のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部改正・志賀町とぎ実験農場条例の一部改正）… 所要の改正	承認 賛11 反0
議案 44	工事請負契約の締結「町道第323号末吉川尻線道路災害復旧工事（6災10842号外）」 … 災害復旧工事に係る請負契約	可決 賛11 反0
議案 45	工事請負契約の締結「町道第3018号町居旧県道線外道路災害復旧工事（6災10961号）1工区」… 災害復旧工事に係る請負契約	可決 賛11 反0

6 月 定 例 会

議案番号	議案名と主な内容（議案名は一部省略してあります）	議決結果
議案 46	令和8年度一般会計補正予算（第1号）… 道の駅再整備やGX関連、農業の高温対策、緊急の災害復旧工事の実施にかかる所要額を補正するもの 補正額：12億4461万円 歳入歳出予算額：258億4461万円	可決 賛11 反0

6 月 定 例 会

討論とは、議案や請願に対し、議員が自己の賛否の意見を表明し、その理由を述べて他の議員に賛同を求めるものです。

賛成

反対

議案に対する 討論**反対**

請願第2号 「『防衛装備移転三原則』及びその運用指針を改定する閣議決定の撤回を求める」意見書の採択を求める請願

賛成

南 正紀 議員

防衛装備共通化の推進で抑止力を
 一国での安全保障が困難な中、装備移転の推進は同盟国・同志国との連携や抑止力を強化し、日本の安全に直結する。共同開発や装備の共通化は、侵略を防ぎ平和を維持する現実的な手段である。ウクライナ情勢が示す通り、現在の国際情勢に即した政府の判断は妥当であり、本請願は不採択すべきである。

武器輸出の閣議決定撤回を求めよ
 政府による「防衛装備移転三原則」改定は、殺傷兵器の全面輸出を可能にし、平和国家の理念と国際的信頼を損なうものである。
 日本国憲法の平和主義を遵守し、閣議決定の撤回を求める意見書を採択するよう、強く要望する。



中谷 松助 議員



小林 克嘉



中谷 松助



梢 正美



堂下 健一

4氏が登壇 市政を問う!

一般質問とは

議員が町政一般について、報告や説明を求め、質問することを行います。

1人あたりの持ち時間は答弁を含めて概ね40分です。

PAGE

9

小林 克嘉 議員

- 1 自治体ファンクラブによる関係人口拡大について
- 2 志賀地域の将来像について
- 3 防災体制の現状について

PAGE

10

中谷 松助 議員

- 1 中東情勢、物価高対策を
- 2 志賀町奨学資金貸付制度の拡充を
- 3 複合的移動交通体系の構築を
- 4 補聴器購入助成制度の創設を
- 5 志賀原子力発電所の廃炉を求めよ
- 6 「海の駅」福浦で世界発信を

PAGE

11

梢 正美 議員

- 1 空き家等の防災対策と避難路確保について
- 2 防災機能を有した公民館のあり方と地域コミュニティの維持について
- 3 住民参画の推進と対話による合意形成のあり方について
- 4 富来義務教育学校整備における情報共有と住民参加について

PAGE

12

堂下 健一 議員

- 1 住宅耐震化工事の今後の進め方について
- 2 ペットとの同行避難について
- 3 コメサミットへの評価と参画について
- 4 水俣病公式確認70年の所感について

一般質問を終えての議員の感想です。

議員のひとこと



こばやし かつよし 議員
小林 克嘉

今後も暮らしの安心と安全を求め、志賀町発展に欠かせない未来投資事業へ町民の声を反映させていきます。

議員の
ひとこと

志賀地域の今後の展開は それぞれの特性を活かした 持続可能な未来へ 町長

小林

志賀地域の将来像が見えにくく、住民から不安の声が上がっているが、町長は志賀地域の今後のまちづくりの方向性や具体的な事業内容、富来地域との役割分担についてどのように考えているのか。

住民に分かりやすいキャッチコピーなども添えて説明願う。

町長

私が描く志賀地域の将来像は、安心して暮らし、働き、子育てできる「賑わい創出エリア」である。

将来にわたり住み続けたいと思える地域づくりのため、復興公営住宅の整備、避難拠点施設と防災公園の整備、産業基盤の強化と雇用の創出、優良住宅地の整備と移住定住促進に取り組む。

富来地域の観光・交流拠点としての役割と相互に補完しあい、持続的に発展するまちづくりを推進する。

多様な魅力を活かした 関係人口拡大の仕組みづくり



動画はコチラから

地域活性化への挑戦 町長

小林

全国で自治体ファンクラブが拡大し、関係人口の増加や地域経済活性化に成功している。

志賀町として、現在、震災復興や自然・特産品などの魅力を活かした関係人口拡大の取り組みを行っているか。

また今後、志賀町版ファンクラブを創設する考えはあるか。

町長

関係人口の拡大については、石川県が運用するプラットフォーム「いしかわのWai」を活用し、継続的な関わりを持つファンの拡大に取り組んでおり、今後、本町ならではの体験の提供により、さらに滞在時間を増やす取り組みを計画していく。

志賀町版のファンクラブについては、本年夏頃の設立に向け準備を進めており、現在、外部の知見も取り入れ、目指すコンセプトやアクションプランの検討を進めている。

その他の質問

小林

地域の指定避難所の運営状況や避難訓練、防災情報周知の課題と改善策について伺う。

町長

複数避難所の活用や情報周知強化に取り組み、地域と連携した自助・共助・公助体制の確立を目指している。



地域とつながる笑顔あふれる未来

物価高騰から町民生活を守る支援を

効果的な独自策を検討

町長



なかに まつすけ
中谷 松助 議員

議員の
ひとこと

より、しっかり町民の皆さんの声をお聴きする必要があると思います。

中谷

中東情勢の悪化によりエネルギー価格が高騰し、町民生活や事業活動への不安が広がっている。

国に対し外交努力や交付金増額を働きかけるのはもちろん、町独自でも、家計や事業者への支援策を講じるべきではないか。

この先行き不透明な状況下で、町としてどのような具体的対策を考えているのか。

町長

中東情勢の影響による物価高騰に対し、国は新たな交付金を計上した。

本町でもこれまで、全町民への給付金やポイント還元事業など、生活や経済を支える支援を実施してきた。

今後、国が示す制度を精査したうえで、町の実情に即した効果的な支援策を検討し、実施していきたい。



動画はコチラから

奨学基金を活用し 教育負担の軽減を

現行緩和の効果を検証

町長

中谷

昨今の物価高騰に加え、大学等の入学・在学費用は過去最高となり、保護者の負担は極めて重くなっている。

町には約2億6000万円の奨学基金があるが、今こそこれを活用すべき。

子育てしやすく、安心して学べる町にするため、所得要件の大幅な緩和や貸付月額の増額、返還期間の延長を求めるが、町の見解を聞く。

町長

学費高騰による保護者の負担軽減は重要と認識している。本町ではこれまでも所得要件の緩和や手続きの簡素化に努めてきた。

ご提案の貸付額増額や返還期間延長については、制度の持続可能性や将来の返還負担増を考慮する必要がある。

まずは現行の緩和策の効果を注視し、その利用状況をしっかりと検証する。



「志賀の未来」を支える、学びの支援

その他の質問

中谷

予約制バスだけでなく、定時路線バスとの複合的な体系を構築せよ。

企画財政課長

定時路線バスの復活は考えていない。しかばすいーじーの利便性向上に努めるとともに、ライドシェアの導入についても検討していく。

中谷

補聴器購入費助成制度の創設を。

健康福祉課長

独自の助成制度の導入は考えていない。

中谷

地震大国として原発は廃炉にし、再生可能エネルギーへ転換せよ。

危機対策課長

原子力は重要な電源。現在は新規制基準への適合審査を注視する。

中谷

北前船の歴史を次代へ、海の駅の整備を。

商工観光課長

施設要件など課題は多いが、枠組みに捉われず賑わい創出を検討。

空き家対策と避難路の確保で防災を

適切な管理促進を進める

まち整備課長

梢

能登半島地震から2年以上経過したが、管理不全空き家や所有者不明建物が防災上のリスクとなっている。

これらが倒壊し避難路を塞ぐ恐れや環境悪化の懸念もある。

町は空家法を活用し、区長聞き取りや危険箇所調査を実施しているが、管理不全空家の把握と優先的対策の考えを問う。

まち整備課長

管理不全空き家は地震や強風で倒壊の恐れがあり命を脅かすリスクがある。

701戸中202戸が「老朽危険空き家」に該当し、うち15戸が「特定空き家」に認定、公費解体制度を活用し、ほぼ解体となった。

町は早期に所有者へ指導や助言を行い、適切な管理促進を進める。

今後とも調査を継続し、安全な避難路の確保に努める。



議員 正美 まさみ 梢 こずえ



動画はコチラから

公民館の防災機能と地域コミュニティ維持を

防災機能強化と住民合意を重視 町長

梢

令和6年能登半島地震で公民館が避難所や情報共有の拠点として重要性が再認識された。

人口減少や施設老朽化で統合や再編が検討されている。

地域コミュニティや防災機能を今後どのように維持・確保するか、統合の検討状況および住民説明や合意形成の計画について問う。

町長

震災で公民館の重要性を再確認。

少子高齢化や施設老朽化により維持は課題だが、防災機能強化や地域ニーズに応じた施設整備を検討中。

16地区の避難所選定や防災拠点の見直しも推進。住民理解を得るため丁寧な説明と意見交換を重視し、地域の合意形成に努める。

その他の質問

梢

震災後の住民活動の認識と、参画しやすい環境づくり、対話による合意形成策を問う。

町長

住民主体の活動を重視し、双方向対話で信頼関係を築き参画促進に努める。

梢

富来義務教育学校整備の説明会の位置付け、住民対話機会の確保、録画配信等の情報共有策について問う。

町長

進捗説明・意見交換を重視し、ICT活用で正確・多様な情報発信に努める。



甚大な被害に耐え堀松の記憶を刻む公民館「残ってくれた」ことが 地域の支えに

コメサミットで農業再生を 課題精査し参画を検討

農林水産課長



どうした けんいち 議員
堂下 健一

議員の
ひとこと

訂正。質問冒頭に、私の学び舎に熊が出たと言いましたが、宇都宮市の位置に誤りがありました。北関東でした。

堂下

全国の自治体が連携し、学校給食での活用等を通じて米の消費拡大や安定供給を目指す「コメサミット」は、米農家の危機を救う時代に合った動きだ。

生産地と消費地が直接つながることで、販路拡大や関係人口の創出に繋がる可能性を秘めている。

本町もこの協議会に積極的に参画し、米の増産や価格安定、ひいては農業の立て直しに寄与すべきと考えるが、町の考えを聞く。

農林水産課長

学校給食等を通じた消費機会の創出や、持続的な農業発展に資する有意義な動きであると認識している。

一方で、町が主体となって産直事業を推進するには、集荷・販売のノウハウ不足に加え、保冷庫等の物流コストや、既存の集荷業者であるJAとの調整といった実務面での課題がある。

現時点での参画は見送るが、今後は他自治体の成果や活動状況を注視し、町の農業政策との整合性を踏まえた上で、必要に応じて参画を検討してまいりたい。



動画はコチラから



コメがつなぐ自治体間農業
連携首長協議会
(通称：コメサミット)

震災の教訓を活かし住宅の 耐震化と火災防止を

手厚い支援で耐震化を加速

まち整備課長

堂下 能登半島地震を受け、住まいの耐震化は最優先課題である。

これまでの実績と補助制度の広報、さらには高齢者へのきめ細かい相談対応や、通電火災を防ぐ感震ブレーカーの同時設置について、町の具体的な進め方を問う。

まち整備課長

震災前10年間の耐震改修は10件に留まっていたが、震災後、補助率を10分の10、上限を320万円に大幅拡充した結果、申請は23件に急増し利用が進んでいる。

今後は広報誌等での情報発信に加え、高齢者が手続きを円滑に進められるよう申請サポート体制を充実させる。

また、県の補助制度を活用した感震ブレーカーの設置助成も積極的に周知し、耐震化と防災対策を一体的に推進することで、町民の安全・安心の確保に努める。

その他の質問

堂下

避難所や復興住宅でのペット同行避難実態と体制は。

危機対策課長

避難所では専用環境を整備し、衛生的な分離を徹底。

まち整備課長

復興住宅では不可欠だが、木造町営住宅では利用可とした。

堂下

発生70年を迎えた水俣病被害者救済に対する国の姿勢への町の所感を問う。

町長

歴史と教訓を環境行政や住民福祉の向上に生かす。

再稼働に対する合意形成や、再生可能エネルギーへの課題を学ぶ

原子力発電所対策特別委員会



原子力発電所対策特別委員会は、令和8年5月19日から20日に福井県高浜町と美浜原子力緊急事態支援センターを視察しました。

高浜発電所は1～4号機、美浜発電所は3号機が稼働中で、関西圏の電力を支える重要拠点です。委員会では、再稼働までの活動や、大規模な自然災害時における安全面に関する意見交換を実施。原子力緊急事態支援組織の設立や、緊急時の活動と、その実効性を確保・維持するための平常時の活動について学んだほか、議員との意見交換を行いました。



原子力緊急事態支援組織の設立や、緊急時の活動と、その実効性を確保・維持するための平常時の活動について学んだほか、議員との意見交換を行いました。



議員の視点

- 関係者間の安定した相互理解と良好な関係性が原発が維持される源泉であり、原子力行政は住民理解と不安解消が重要であると感じた。
- 町と事業者の共存共栄や町民福祉が確かな信頼関係で築かれてきた町政であると感じた。
- 東日本大震災の経緯を踏まえた技術者の訓練が災害時の安心感につながっている。

道の駅とぎ海街道多目的広場を視察

令和8年6月12日の議員全員協議会にて完成前の現地を視察しました。

この広場は野外ステージと夜間照明を整備し、各種イベントの開催やスポーツを通じて地域の賑わいを創出し観光振興に資することを目的に作られ6月19日に完成しました。



委員会傍聴について

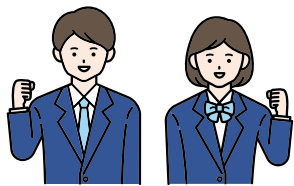
町議会では、開催される委員会を試行的に公開します。傍聴をご希望の方は、委員会開催の60分前までに議会議務局までお越しください。傍聴は6名までとし、希望者多数の場合は抽選となります。※審査議案の内容によっては傍聴できない場合があります。

時間の変更などがある場合は、**LINE**や**メール**にてお知らせします。最新情報をチェックの上、お越しください。

聞かせてください！

あなたの

声



～ 志賀高校3年生編 ～

迷い、焦り、そして責任感。 志賀高校3年生が向き合う初めての「選挙権」

生徒

- 政治に疎く一票の重みに不安を感じているが、本会を機に関心を高めたい。
- 投票に行きたいと思っている。
- 自分の一票が政治に反映されることに魅力を感じるので、よく考えて投票したい。



中谷 瑞輝さん

議員

選挙は一、二票の差で結果が変わることもあり、一人の一票には非常に大きな力があります。まずは直感的なイメージから興味を持つだけでも良いので、そこから関心を広げ、参加すること自体が大切です。



南委員

18歳が変える町の未来。 志賀高校生が描く、 投票先を選ぶ「ものさし」



堺 粧裕さん

生徒

- 自分や町の利益を考えつつ、他者の不利益も考慮できる判断力を選挙で養いたい。
- 単なるイメージだけではなく、生活に直結する視点を持ち、身近な政策を掲げている人に投票したい。
- 今までどんな取り組みをしてきたか、これからどんなことをしていきたいのかを聞いて、信頼できる大人を見つきたい。



井高 桜さん

議員

将来の自分に必要な支援を想像し、新聞やSNSなどの情報に触れ、自分なりの「ものさし」を持って判断力を養うと良いですね。



表谷委員

次代を担う若い感性、 民主主義には不可欠



藤本 空音さん

生徒

経験豊富な大人がいる中で、あえて「若者の声」が必要な理由は？

議員

民主主義は、性別や年齢を問わず幅広い世代の意見を尊重する仕組みだからです。皆さんは「町の宝」であり、将来の志賀町を担う存在です。若い世代ならではのフレッシュな感覚を政治に取り入れるため、18歳という年齢が選ばれています。



林 繭さん



田畑 愛さん

志賀高校の活動をぜひご覧ください。
活動の様子は下のQRコードから↓



志賀高校
ホームページ



@SHIKAHIGHSCHOOL
公式Instagram

「ぎかいのひろば」では、これまでたくさんの町民の皆さんの
声を紹介してきました。

今回は、選挙権を得た志賀高校3年生と町議会議員が本音で
対談。一票の重みへの不安や、議員への鋭い質問など、生徒
たちの率直な声を通して、町の未来を考える姿を紹介します。

今回のテーマ：選挙・政治

社会経験の差を自覚している からこそ、既存の政治の仕組み に対して鋭い疑問



谷内 絵美里さん

生徒 この町の規模に、12人の議員は本当に必要ですか？



濱崎 稀美さん

議員 かつては16人でしたが、12人は議論が成立する限界まで減らした人数です。減らしすぎると少数の意見しか通らなくなります。多様な町民の声をもれなく拾い上げ、多くの視点で物事を決めるためには、一定の人数が必要なのです。

生徒 意見がぶつかったら、議員同士の関係はどうなる？



吉峯 美憂さん

議員 議員には同級生もいますが、考え方が違うのは当然のことで、気まづくなることはありません。議会が多様な考えを持つ人が集まる場所であり、互いの意見を尊重し、町民のために議論を尽くすのが私たちの役割です。

座談会がなければ 行かなかった？ 18歳が「投票所へ行こう」 と思えた理由



東 凌牙さん

生徒 今日、直接議員さんと話をしたことで「志賀町の明日」を共有できたように思えたから。

議員 若者が地元に残りたい、帰ってきたいと思える魅力的な町にするのが私たちの使命です。今回のような対話を通じて、政治が自分たちの生活に繋がっていることを実感してもらい、その一歩として、ぜひ投票所へ行って欲しい。



富澤委員



山田 真緒さん

全国町村議会議長会表彰

町村議会議員として27年以上在職し功労のあった者として**林一夫**議員と**櫻井俊一**議員が表彰されました。

櫻井 俊一 議員

「今回の受賞にあたりお礼申し上げます。27年間長いようで短い日々でありました。町の皆様に人情味があるおかげです。引き続き、町、住民のために災害に強くて安心、安全に暮らせる町づくりに邁進してまいります。今後ともよろしく願いいたします。」



林 一夫 議員

「この度、全国議長会より永年勤続表彰を授与いただきました。身に余る栄誉と感謝いたします。48歳の新米議員も後期高齢者の身となりました。今後とも、町民本位の立場で町政発展・町民福祉の向上に微力を尽くします。よろしくお願い申し上げます。」

今回は、志賀町に移住された

貝田 ガビ / ルカさん
桃子さん ご夫妻



にお話しをお聞きました。

お聞きしました 志賀町のこころ
しかまち
LIFE



出身はどちらですか。

志賀町に移住した理由を教えてください。

ルカさん：私はイタリア出身です。カメラマンをしていて日本には2010年に来ました。

桃子さん：私は東京生まれ、東京育ちです。

志賀町に移住して、まだ2か月半です。

一番のきっかけはコロナ禍での出産でした。これから子育てをするなら、都会よりも自然豊かな特に海の近い場所がいいと考え、日本中で候補を探し始めました。志賀町の自然や文化、古い家並みがとても気に入りました。

志賀町の住み心地はいかがですか。

移住してまだ2ヶ月半ですが、あまり不便は感じていません。スーパーやドラッグストアもコンパクトにまとまっていますし、足りないものはインターネットで補えます。子どもたちもゲームやテレビではなく、自然の中で遊べます。

ただ、小児科などの医療面では、緊急時に少し遠くまで行く必要があるため、その点はしっかり調べておく必要があると感じました。

移住する前と比べて変化はありましたか。

全然違いますね。東京では常にパソコンの前にはいましたが、今は外で畑をしたり、家を片付けたりと、ずっと体を動かしています。朝起きた時の充実感が違います。

景色が本当に綺麗で、夕暮れの空を見るだけで感動します。東京では味わえなかった心の余裕が生まれました。

町や議会に望むことはありますか。

この町は本当に美しい。だからこそ、この景観を守ってほしいです。特に海岸の漂着ゴミの問題は心が痛みます。

先日の震災で多くの古民家が壊れてしまったのはとても残念です。これほど立派な家や梁はもう二度と作れません。壊して捨てるのではなく、何とかしてこの町の財産である古い町並みを残していく仕組みがあればと思っています。



コミュニティが温かくフレンドリーな感じは、少しイタリアの文化にも似ていると感じるそうです。



編集後記

志賀高校生への取材時の対談で感じたことは、思いのほか積極的な発言と、その内容が的確であること。こちらが問い詰められる場面もあり、本町の将来に期待が持てました。(南 正紀)



議会へのご質問、「ぎかいのひろば」についてのご感想・ご意見などありましたら、ホームページの入力フォームをご利用下さい。



お知らせ

9月定例会本会議の日程(予定)です。傍聴に来ませんか。

※本会議はケーブルテレビでも視聴できます。(生放送・録画放送)

9/1 (火)	本会議 10:00	議案の上程 (町長が町の近況や議案説明をします。)
9/8 (火)	本会議 10:00	一般質問 (議員が町政について質問をします。)
9/17 (木)	本会議 14:00	議案の採決 (議案の可否について決定をします。)

発行責任者		議長
福田 晃悦		
議会広報特別委員会		
委員長	表谷 茂浩	
副委員長	南 正紀	
委員	寺井 俊一	
委員	富澤 康	
委員	櫻井 俊一	